

## 第2回 ふくし井戸端会議ダイジェスト

さくら小学校区開催

発行元：半田市 平成30年11月

ふくし井戸端会議とは地域の困りごとを地域のみなさんで共有し、解決に向けた具体的な取組を共に考える場です。

今年度2回目となるさくら小学校区ふくし井戸端会議は、前回のアンケートの中で意見があった「認知症」をテーマに、地域の方と理解を深めていきました。

日時：平成30年11月30日（金）  
10時30分～12時  
場所：さくらの家（瑞穂町2-1-1）  
参加者：38名  
（一般28名、さくらの家運営委員5名、  
市・社協5名）  
内容：「認知症」について



### 「認知症」について

はじめに、さくらの家の施設長より、みなさんの知りたいと思うことをリストアップし、認知症についての概要をお話しいただきました。その中で、包括支援センターや保健センターの職員からも説明を交え、みなさんの知識を深めました。

その後、包括支援センターの職員から具体的な事例を交えてお話し、最後にみなさんと意見交換を行いました。

《認知症の知識》

認知症はどういう病気か？

認知症発症の予防は？

認知症の人と接する時は？

《意見交換》

- ◇自分の親など、認知症の支援を経験しているため、現在は予防を心がけている。
- ◇一緒に生活していないと認知症だと気付かないことがあるため、地域で会ってもなかなか支援の声掛けができない。
- ◇自分やまわりの方が認知症になった際は、早めに気づいて対応したい。
- ◇さくらの家などの交流の場があると、気軽に話ができ、早く人に相談できる。
- ◇多くの方と会う機会がたくさんあるとよい！これからも積極的に活動していきたい。

3つのテーマで、みなさんと一緒に学びました。物忘れと認知症の違いを聞きホッとしたり、認知症初期の段階で発見し対応することが大切だということを改めて確認しました。そしてみなさんが普段、地域で行っている交流活動が何よりも認知症予防につながっていることを再確認しました。

今回は認知症についての理解を深めることができました。

認知症になっても、安心して住み続けられる地域にするために、今後もみなさんと一緒に考えていきます。

◆◆◆お問合わせ◆◆◆

半田市地域福祉課 0569-84-0641

半田市社会福祉協議会 0569-23-7361

